

高齢者住宅 どう選ぶ？

札幌で経験者ら座談会

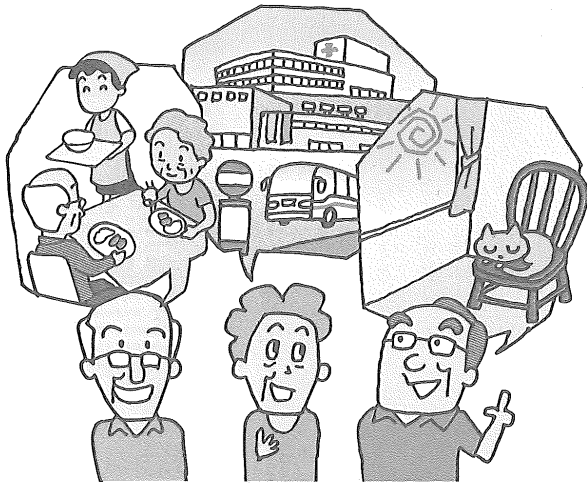
＜座談会参加者＞

Aさん 70代男性。2004年に東京から札幌へ転居。その後3度住み替えし、中央区内の高齢者向け賃貸マンションに居住。

Bさん 78歳女性。夫と死別後、伊達市内から札幌市内の一般マンションへ転居。現在、高齢者向け住宅を探している。

Cさん 69歳男性。札幌市内の一般マンションに住んでいたが、病気の影響で移動などに支障が出たため、高齢者向け賃貸マンションに住み替えた。

進行役 石沢佳子さん＝NPO法人シーズネット「札幌・住まいのアップセンター」事務局
まとめ役 瀬戸口剛・北大大学院教授＝住まいのアップ委員会委員長



緊急時の対応確認を／生活スタイル見極めて

「ついのすみか」ともなる高齢者向け共同住宅は、どのような観点で選べばよいのか。7日に札幌市北区のエルプラザで開かれた市民セミナー「シニア世代の住み替えのヒント」札幌市の高齢者住宅」(NPO法人シーズネット主催)の座談会では、ライフスタイルに合った物件を選ぶことの大切さなどが示された。住み替えの経験談や注意すべき点などについて参加者の発言を紹介する。(弓場敬夫)

司会の石沢さん 住みが悪く、買い物などの交換えなどの経緯を教えて 通アクセスも悪かった。そこで5、6件を見学し

Aさん 前は日当たり ましたが、いずれも条件

高年齢者向け共同住宅 高齢者の入居を前提として整備された賃貸住宅。施設やサービス内容は物件により異なるが、体が不自由になっても使いやすいバリアフリー構造で、ボタンを押すと人が駆けつ

に合わず、さらに見学を重ねて「ある程度譲れる」と思えた物件に転居しました。

Bさん 現在の一般マンションを購入して2年ですが、何度か手術を受

け、目の調子も良くないので、ケア付きマンションへの住み替えを考えて

良さなどの条件で決めました。

瀬戸口教授 自分で見て回れる元気なうちに見学してほしいと思

「見学したら入居しなくてはならない」というものではないので、早めに見に行く行動を起すことが大事です。

石沢さん 住み替えのポイントと、今後探そう

Aさん 部屋の広さな

件ぐらいいりました。現在住んでいる所は、健康状態や収入、交通の便

「ハードウェア」よりも「ソフトウェア」面が大切です。緊急時の対応などは、住んでいる人に確認を取った方がいいでしょう。また、「自分の条件」は何度か住み替えをして分かるもので、1回で「ぴったり」ということはないと思います。

Bさん 時間をかけて自分の体に合う住宅を探せたらいいですね。

Cさん 私の場合、子どもが住む地域に近く、交通や買い物で便利であることが条件でした。「これだけは妥協できない」という心構えで選んでい

く必要があります。

瀬戸口教授 ポイントは3点あります。1点目はご自分の身体状況とライフスタイルを考えること。ケアが必要なときのサービスや、プライバシーがどの程度保たれるか身体状況によって求める内容が異なります。できれば、入居者が食事している様子などを見学してほしいですね。

2点目は経営者や管理人と直接、話をすること。経営一辺倒ではないことなどを確認してほしい。3点目は、契約がしっかりしているかどうか。緊急時のサービスや、介護度が上がったときにも住み続けられるか。物件を気に入ったら契約書のひな型を見せてもらうとよいでしょう。

高齢者向け住宅 については、各市町村の高齢者福祉担当部署へ相談するとよい。札幌市内への住み替えについてはシーズネットが運営する「あんしん住まいサポート」011-210-6224(平日午前10時～午後4時)も相談を受けている。